

第2回実行委員会を開催しました



令和5年2月9日（金）、塩川中学校において、第2回実行委員会を開催しました。今回は、これまでの1年間の取組の確認と次年度の事業計画案について話し合いました。

最初に、今年度の取組についてお伝えします。

1. 児童会、生徒会が主体となった取組

- 塩川中生徒会が中心となって「塩中スマホルール」を作成し、スマホや電子通信機器等の使用についての約束を周知した。
- 塩川中保健委員会が中心となり、生活習慣を呼びかける標語の募集を行い、生活習慣について自分自身を見つめる機会とした。
- 塩川小学校では、昼の放送で保健委員会が就寝時刻の大切さや早寝早起き朝ごはんの生活の重要性について呼びかけを行った。
- 堂島小学校では、保健委員会による朝の具だくさんみそ汁習慣の呼びかけを行った。
- 姥堂小学校ではからだづくり委員会が各学級をまわって朝食摂取の呼びかけを行った。

2. 授業による取組

(1) 食育領域

- 塩川中学校では、マイランチデー（自分で作るお弁当）に備えて、家庭科の授業において栄養士を招いて弁当作りに関する授業を実施した。
- 駒形小学校においては、学級活動において会津短期大学教授・鈴木秀子氏を招いて食に関する授業を行った。
- 各小学校では、学級活動の時間に担任と栄養教諭等による食育指導を行った。

(2) 保健領域

- 塩川中学校では、1年「食と睡眠」に関する領域、2年「生活習慣病」に関する領域、3年では「生活リズムと食生活」に関する領域において、下記の通り医師による授業を行った。
 - ・1年望ましい生活習慣～睡眠編～ 村山浩之氏（会津中央病院医師）
 - ・2年望ましい生活習慣～がん予防編～樋口光徳氏（会津医療センター医師）
 - ・3年望ましい生活習慣～感染症予防編～武田仁氏（喜多方市地域医療センター医師）

3. 全校的な取組

- 塩川中学校では、全校生徒を対象に養護教諭がオンラインによる生活習慣に関する保健指導を行った。

- 塩川中学校では、美術担当教諭が中心となって生徒から「塩川版早寝早起き朝ごはんキャラクター」を募集し、本事業キャラクターを決定した。本事業リーフレットやのぼり旗にプリントし、事業周知に役立てた。
- 基本的な生活習慣に関するアンケート調査を小中共通で6月と12月に実施した。
- 4. 家庭との連携
 - 朝の具たくさんみそ汁週間の実施
毎月1～7日を「塩川地区朝の具たくさんみそ汁週間」と位置づけ、朝食で汁物を摂取するよう呼びかけてきた。
 - 弁当の日の取組
塩川中学校では、食への関心や意欲を高め、食を自らが担う力を培うためにマイランチデー（献立から買い出し、調理、片付けまで全て自分で行う弁当の日）を7月と11月に実施した。マイランチデーは小中共通の取り組みとして実施し、小学校ではそれぞれの発達段階を踏まえて段階的に実施した。
- 5. 学校運営協議会との連携
 - 生徒会で作成したスマホルールを生徒が学校運営協議会で説明協議し、協力を依頼した。
- 6. 保護者・地域への学習機会の提供、情報の発信
 - 児童・生徒及び保護者への啓発として、講演会を実施した
 - ・「AI・IOT時代の情報モラル」目黒朋子氏(塩川中にて)
 - ・「弁当の日で身につく力」竹下和男氏（堂島小学校にて）
 - ・「メディアを正しく使おう～心も身体も健康に暮らすために～」市川陽子氏(堂島小学校)
 - 生徒会で作成した「塩川中スマホルール」や「早寝早起き朝ごはん」の生活を呼びかけるリーフレットを作成し、塩川町内の地区全戸（約3600戸）へ配付した。
 - 実行委員会だよりを作成して保護者及び塩川地区全戸へ回覧（4回）し、学校での取り組みを知らせたり、早寝早起き習慣を呼びかけたりした。
 - 「早寝早起き朝ごはん」の生活習慣を促すのぼり旗等を作成し、各校へ10本ずつ配付し、地区の主要地区へ掲げた。



次に、今年度の事業成果・課題及び次年度については、下記の通りです。
次年度も塩川中学校区小中学校で連携して参ります。今後ともご協力をお願いいたします。

事業成果

1. 生徒会・児童会の主体的な活動により、自分たちの課題として考えることができた。
2. 専門家から科学的に学ぶことによって、個々の力にすることができた。
3. 小中学校及び家庭と連携の強化を図ることができた。
4. 地域への情報の発信により、事業の周知ができた。

課題

スマホやゲーム、PC等のメディアに関することについて今後も力を入れていきたい。

次年度

東北大学加齢医学研究所所長 川島隆太先生をお招きし、講演会を開催予定